を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

γ　特別区、指定都市、中核市及び施行時特例市にあつては1.96とし、特別区、指定都市、中核市及び施行時特例市以外の市にあつては2.44とし、町村にあつては2.85とする。

K　次の算式Ⅱによつて算定した数（当該数に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が３を超える場合には３とし、１に満たないときは１とする。）

算式Ⅱ

$K = 0.29 \times (m - 1) + 2.08$

算式Ⅱの符号

［略］

m　平成28年から平成30年までの各年における転入者人口比率の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

L　次の算式Ⅲによつて算定した数（当該数に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が３を超える場合には３とし、１に満たないときは１とする。）

算式Ⅲ

$L = -0.35 \times (o - n) - 0.24$

算式Ⅲの符号

［略］

o　平成28年から平成30年までの各年における転出者人口比率の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

M　次の算式Ⅳによつて算定した数（当該数に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が３を超える場合には３とし、１に満たないときは１とする。）

算式Ⅳ

$M = 140.90 \times (q - p) + \delta$

算式Ⅳの符号

［略］

q　平成29年１月１日現在、平成30年１月１日現在及び平成31年１月１日現在における年少者人口比率の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

δ　特別区、指定都市、中核市及び施行時特例市にあつては2.65とし、特別区、指定都市、中核市及び施行時特例市以外の市にあつて

を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

γ　特別区、指定都市、中核市及び施行時特例市にあつては1.81とし、特別区、指定都市、中核市及び施行時特例市以外の市にあつては2.33とし、町村にあつては2.70とする。

K　次の算式Ⅱによつて算定した数（当該数に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が３を超える場合には３とし、１に満たないときは１とする。）

算式Ⅱ

$K = 0.30 \times (m - 1) + 2.04$

算式Ⅱの符号

［同左］

m　平成27年から平成29年までの各年における転入者人口比率の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

L　次の算式Ⅲによつて算定した数（当該数に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が３を超える場合には３とし、１に満たないときは１とする。）

算式Ⅲ

$L = -0.35 \times (o - n) - 0.15$

算式Ⅲの符号

［同左］

o　平成27年から平成29年までの各年における転出者人口比率の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

M　次の算式Ⅳによつて算定した数（当該数に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が３を超える場合には３とし、１に満たないときは１とする。）

算式Ⅳ

$M = 148.20 \times (q - p) + \delta$

算式Ⅳの符号

［同左］

q　平成28年１月１日現在、平成29年１月１日現在及び平成30年１月１日現在における年少者人口比率の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

δ　特別区、指定都市、中核市及び施行時特例市にあつては2.56とし、特別区、指定都市、中核市及び施行時特例市以外の市にあつて